

乳製品の安全性の調査

石井慶造¹⁾、結城秀行²⁾、長久保和義¹⁾、松山成男¹⁾、山崎浩道²⁾、寺川貴樹¹⁾、菊池洋平¹⁾

東北大学大学院工学研究科¹⁾、東北大学サイクロトロン・R I センター²⁾

1. 目的

小学校のPTAの父兄から、福島県、宮城県で生産された牛乳を加工した乳製品の安全性についての問い合わせがあり、調査した。

2. 方法

5つの会社の乳製品の放射性セシウムの比放射能をGe検出器で測定した。製品の購入日は平成24年2月22日で測定は2月23日に行った。

3. 結果（平成24年3月1日発表）

下表に、測定結果を示す。すべての牛乳が検出限界値以下であった。MM牛乳とDY牛乳が宮城県又は福島県産の牛乳を使用したものである。

メーカー	Cs134	Cs137	Cs134 + Cs137
M牛乳	<5Bq/kg	<5Bq/kg	<10Bq/kg
G牛乳	<5Bq/kg	<5Bq/kg	<10Bq/kg
MM牛乳	<5Bq/kg	<5Bq/kg	<10Bq/kg
DY牛乳	<5Bq/kg	<5Bq/kg	<10Bq/kg
K牛乳	<5Bq/kg	<5Bq/kg	<10Bq/kg

表1 各メーカーの牛乳製品中の放射性セシウムの比放射能

作成者：石井慶造